あざれあ便り

KURUME COLOPROCTOLOGY CENTER

CONTENTS

◆特集：骨盤臓器脱　◆外来担当医一覧

◆市民公開講座　◆学会・論文報告

朝倉市キリンビアファームのコスモス。花言葉は「乙女の真心」。

理　念

Smile（スマイル）笑　顔
Speciality（スペシャリティ）専門性
Service（サービス）奉仕の心
Study（スタディ）自己研鑽
Safety（セーフティ）安　全

TAKE FREE　ご自由にお持ち帰りください

Japan Council for Quality Health Care 日本医療機能評価機構

NO.27

器脱

気？

として使われます。子宮や膀胱といっ
ックのような状態となって支えていま
骨盤臓器脱になります。従来は膣から
れていましたが、ハンモックである骨
骨盤臓器脱という名称が用いられるよ

直腸瘤　　直腸脱

]

があります。

しかしながら、未経産婦の20%に骨盤臓器脱を認めるという報告もあり、そういった意味では女性ならではの悩みなのかもしれません。また、肥満や更年期も骨盤臓器脱の危険因子です。太ると骨盤内の組織を支えきれなくなりますし、ホルモンバランスの変化は組織の柔軟性に影響します。さらに重いものを持ったり、腰痛用のコルセットをつけたりする機会が多い人も発症しやすいようです。もちろん加齢による筋力低下も原因の一つとして上げられます。

治療方法

骨盤臓器脱に対する治療は、メッシュを用いた手術（TVM法）が主流となっています。この方法はフランスで10年前に開発され、シート状のメッシュを体内に埋めて、ハンモックを補強することで下がった臓器を支えます。子宮を取る必要もありません。日本では2005年から導入され，既に10,000例を越える手術が行われています。

骨盤臓器脱の手術に使用するメッシュ

子宮を摘出し、膣の壁を縫い合わせる従来手術では30～40%の再発が見られていましたが、TVM法は5%程度と再発率も低くなっています。筋肉を縫い合わせる手術と異なり術後の突っ張り感も少なく、開腹しない手術ですから負担も軽いのが特徴です。手術時間はおよそ1時間30分で、入院期間はだいたい1週間から2週間、健康保険も適用されます。

骨盤底筋体操の基本

肛門を締めたまま、陰部全体を身体の中に引っ張り上げる感じで行います。
そのまま5～10秒締め続けてゆっくりゆるめます。
この動作を10～20回くらい何度かにわけて１日50回行います。
様々な姿勢でのやり方を紹介します。

仰向けに寝て足を肩幅に開き、両膝をたてます。
お腹に力が入っていないか下腹部に手を当てて確認します。

足と手を肩幅に開いて、
机のそばに立ち、
体重を全部腕にかけます。
背中を伸ばし、顔をあげ、
肩やお腹に力が入らないように
行います。

イスに腰掛け、両足を肩幅に開きます。
背中を伸ばし、顔はあげます。
肩の力を抜いてお尻の下に手を当て、
お尻の筋肉が動いていないかを
確認します。

もちろん手術の後でも体操は有効で、術後の尿漏れ防止にも効力を発揮します。当院では専門のスタッフが対応し、むりなく継続できるようにアドバイスしています。

骨盤臓器脱は長く放置すれば、脱出がより高度になる場合があります。適切な治療によって症状も軽くなりますし、「恥ずかしい」とためらわずに、お悩みの方は一度診察を受けてみてはいかがでしょうか。

外来担当医一覧表

平成 23年10月現在

	月	火	水	木	金	土	日	専門外来
午前	高野正博						担当医より一名	• 便秘外来 ※1 • 便秘失禁外来 • ヘルニア外来 • ストーマ外来 • IBD外来 ※2（予約制：火曜午前・土曜午前） • 女性外来 ※3（予約制：火曜午後・金曜午後）
	荒木靖三	荒木靖三	荒木靖三	荒木靖三		荒木靖三		
	野明俊裕	野明俊裕	野明俊裕		野明俊裕	野明俊裕		
	岩谷泰江	岩谷泰江	岩谷泰江		岩谷泰江	岩谷泰江		
	小篠洋之		小篠洋之	小篠洋之	小篠洋之	小篠洋之		
		鍋山健太郎	鍋山健太郎	鍋山健太郎	鍋山健太郎	鍋山健太郎		
	神山剛一			神山剛一	神山剛一	神山剛一		
	的野敬子	的野敬子	的野敬子	的野敬子		的野敬子		
	岩本一亜	岩本一亜		岩本一亜	岩本一亜	岩本一亜		
		新垣淳也	新垣淳也	新垣淳也	新垣淳也	新垣淳也		
人間ドック	佐藤郷子							

☆専門外来は毎日行っておりますが検査の都合上、午前中の来院をおすすめします。（予約制を除く）
（土曜日PM、日曜日を除く）

担当医　：　※1）荒木・神山　　※2）光山（久留米大学）・荒木　　※3）佐藤

くるめ病院　公開講座 in 2011

～いつまでも若々しく健康であるために～

参加費無料
定員80名

○日 時：平成23年11月12日（土）
14:00～17:00

○場 所：くるめ病院　あざれあホール
久留米市新合川2丁目2－18

時間	内容
第1部 14:00～14:50	健康食品・サプリメントなどの展示 血圧測定・身長、体重、BMI測定（無料）　場所：患者食堂
第2部 15:00～15:50	テーマ：生活習慣病予防とがん検診について 講師：佐藤郷子先生（くるめ病院）　場所：あざれあホール ※第2部受付時に「健康くじ」（空くじなし）があります。
16:00～16:50	○生活習慣病とがんの予防に関連する食事について 講師：くるめ病院栄養士 ○理想的な献立メニューの紹介（試食タイム） ○骨盤底筋体操と実技 講師：日本コンチネンス協会

※終了後、ご希望の方には健康・医療相談を承ります。
（医師、薬剤師、看護師（保健師）、理学療法士、栄養士、排泄相談、介護相談）

申し込み方法

1．E-mail・ＦＡＸでお申し込み下さい。
　お名前、参加人数、住所、連絡先をご記入下さい。

○E-mail：kurume@uproad.ne.jp　（件名を「公開講座申し込み」としてください）
○FAX：0942-43-1517
○TEL：0942-43-5757（地域医療連携課「内線144」）

2．くるめ病院受付でもお申し込みいただけます。

学会・論文発表の報告　平成 23年4月～23年9月

学会発表

開催日	学会名	開催地	発表者	演題
H23.4.21-22	第85回日本感染症学会総会	東　京	神山　剛一	便培養検査から検出される耐性菌の動向調査
H23.5.14	第8回日本褥瘡学会九州地方会	久留米	馬場満寿美	スキンケア回診の現状と課題
H23.5.21-22	第20回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会	金　沢	神山　剛一	医療連携を通じた介護施設における排便ケアについての取り組み
H23.5月（震災により紙上開催）	第111回日本外科学会学術集会		荒木　靖三	肛門括約筋切除モデルと肛門括約筋修復術
			野明　俊裕	下部消化管手術における抗生剤添加合成吸収糸のSSIに与える影響
			神山　剛一	腸管切除施行Crohn病患者に対する術後早期Infliximab療法の有効性についての検討
H23.5.28-29	第24回日本老年泌尿器科学会	名古屋	神山　剛一	排便障害に対する排泄リハビリテーション―バイオフィードバック療法と理学療法のシナジー効果―
			種子田美穂子	介護施設との排便ケアの改善に対する取り組み
H23.6.3	第9回IBDを学ぶ会	久留米	小篠　洋之	治療方針に難渋した腸炎の１例
H23.6.4-5	第60回日本医学検査学会	東　京	中尾真由美	当院における直腸肛門機能検査4chソリッド式圧センサーを用いた直腸肛門機能検査
H23.6.11	第87回九州大腸肛門病懇談会	久留米	小篠　洋之	大腸腫瘍内視鏡診断における画像強調観察の有用性についての検討
H23.6.16-17	第36回日本外科系連合学会	浦　安	神山　剛一	低位前方切除術後の一時的ストーマ状態で施行するバイオフィードバック療法の有用性
H23.6.18	第21回骨盤外科機能温存研究会	神　戸	神山　剛一	TVM手術が骨盤底に及ぼす影響について
H23.6.24-25	第97回日本消化器病学会九州支部例会	久留米	小篠　洋之	カプセル内視鏡検査における小腸疾患の診断
	第91回日本消化器内視鏡学会九州支部例会		的野　敬子	当院における進行・再発大腸癌（StageⅣ）治療の現状と成績の検討
H23.6.25	第36回福岡肛門疾患懇談会	福　岡	荒木　靖三	毛巣病の治療
H23.7.8	第75回大腸癌研究会	東　京	岩本　一亜	直腸癌先進部組織形態の臨床病理学的意義の検討
H23.7.9	第42回東海肛門疾患懇談会	名古屋	荒木　靖三	当院における深部痔瘻の治療成績
H23.7.9-10	第13回日本女性骨盤底医学会	横　浜	神山　剛一	骨盤臓器脱における多臓器下垂の画像診断
H23.7.13-15	第66回日本消化器外科学会	名古屋	野明　俊裕	クローン病に対する計画的Infliximab治療中の周術期合併症
			神山　剛一	骨盤底臓器脱に対するTVM手術と排便機能に及ぼす影響
			岩本　一亜	直腸癌に対する補助化学療法の適応
H23.7.15	第3回Ladies Forum on Breast Cancer	久留米	的野　敬子	便秘について
			種子田美穂子	排便障害のケア
H23.7.21	第21回久留米BCM研究会	久留米	谷岡くみ子	大腸癌外来化学療法に関する話題
H23.7.30	第9回IBD Club Jr. Kyusyu	福　岡	小篠　洋之	消化管内にびまん性・多発性病変を呈したenteropathy associated T-cell lymphomaの１例
H23.7.30	第16回大腸肛門機能カンファレンス	東　京	神山　剛一	The benefit of bear-down manometry as the predictor for balloon expulsion training
H23.8.1-2	第9回日本ヘルニア学会	福　岡	神山　剛一	抗凝固剤服用中患者における鼡径ヘルニア周術期管理についての検討
H23.8.11-12	第47回腹部救急医学会	福　岡	新垣　淳也	大腸癌狭窄を伴う穿孔症例の経験
H23.8.11-13	10th Asia Pacific Congress of Endoscopic Surgery(ELSA)	シンガポール	岩本　一亜	Robotic Surgery in Korea -a view of Japanese surgeon-
H23.8.17-19	第81回日本消化器内視鏡学会総会	名古屋	小篠　洋之	大腸内視鏡治療時の抗血栓薬の取り扱いに関する検討
H23.8.20	第5回西日本直腸肛門疾患懇談会	熊　本	野明　俊裕	小児便秘の検討
H23.8.24	倉敷消化管漢方研究会	倉　敷	荒木　靖三	排便障害のアルゴリズム
H23.8.26-27	第13回日本褥瘡学会	福　岡	種子田美穂子	現場に即した失禁ケア～コンチネンスケアを一緒に考えてみませんか～
H23.9.3	大腸肛門機能障害研究会	東　京	野明　俊裕	小児便秘の検討
			神山　剛一	機能性排便障害の診断における内圧測定とDefecographyの関連について
			村田奈理加	座位で行うバルーン排出訓練における直腸内圧検査測定の意義
			中尾真由美	排出圧検査の有用性
			眞崎　美佳	バルーン排出訓練に用いるバルーン容量の検討
H23.9.3	第21回九州内視鏡下外科手術研究会	福　岡	新垣　淳也	右側結腸癌に対する腹腔鏡下手術の定型化へ取り組み
H23.9.10	第179回大腸肛門病懇談会	東　京	野明　俊裕	クローン病肛門病変に対するIFX治療
H23.9.15-17	第18回日本排尿機能学会	福　井	神山　剛一	TVM手術が骨盤底に及ぼす効果についての検討
H23.9.21-24	6th European Society of Coloproctology(ESCP)	コペンハーゲン	荒木　靖三	Evaluation of Infliximab-based Combined Therapy for Perianal Fistulizing Crohn's Disease

論文発表

論文名	著者	掲載誌名
1章　2-6.肛門疾患	野明　俊裕　他	消化器外科学レビュー2011　―最新主要文献と解説― 総合医学社

■ 診療科目／**肛門科・胃腸科**

■ 診療受付時間

		受付時間	診察開始時間
平　日	午前の部	午前8:00～午前11:30	午前8:45～
	午後の部	午後1:00～午後4:30	午後2:00～
土曜日	午前中のみ	午前8:00～午前11:30	午前8:45～
日曜日	午前中のみ	午前8:30～午前11:30	午前9:00～

特定医療法人社団高野会

くるめ病院

（旧日高病院）

大腸肛門病センター

No.27

■企画・発行

特定医療法人社団高野会

くるめ病院 地域医療連携課

〒839-0865　久留米市新合川2丁目2-18

TEL（0942)43-5757(代)

FAX（0942)43-6959

E-mail：kurume@uproad.ne.jp

※専門病院としてのさまざまな医療情報を満載したホームページを開設しています。

http://www. uproad.ne.jp/kurume/

※携帯版ホームページはこちら →